

岡本眸の秋の句

朝すこし降りて一位の實が甘し
秋高し飲食の具を草の上
鶉高音含漱の顔のまつ平ら
秋深し人肌いろの湯葉料理
次の間の燈を消しに立つ夜の長き

松岡隆子 抽